

【株式会社ア・ダンセからの提言】

Present Tree 事務局様

日本でもめずらしく大きく報道されましたので、ご存じのことと思いますが、ブルキナファソでクリスマスに大きなテロが起きました。200人の武装勢力が軍の基地を攻撃してきたため、治安部隊が応戦し80人のテロリストが殺され、同時に襲撃を受けた町では30名ほどの一般女性を含む35名が殺害されました。合計では120名を超える死者があったようです。昨年11月には植林事業を実施しているバンフォラ市近辺で中国人1名を含む4名が誘拐されました。以前より大使館から首都ーボボデュラツソ間移動は、すべて空路もしくは治安部隊のエスコートをつけるように言われておりましたが、この誘拐により、外務省から直接連絡があり、バンフォラ市などの西部には行かないように通達されました。さらに、クリスマス以降、バンフォラ市およびボボデュラツソ市において、治安部隊への攻撃が立て続けに起こり、とうとうバンフォラ市は外務省の危険度レベル3「渡航中止勧告」(渡航はやめてください。)になってしまったばかりか、全土的に危険レベルが上げられ、関係邦人は首都を出ないように勧告されています。年明けも道路に仕掛けられた爆弾でバスに乗っていた女性・子供たちが亡くなるなど、混乱は収まる気配がありません。

イスラム国が西アフリカで猛威を振るい始めており、その中心が現在、ブルキナファソ国境付近です。そのほか、アルカイダが活発に活動し、数年前にアルジェリアの日揮の方々が多く亡くなったテロを起こしたグループも活動しており、さらに、先般のクリスマス攻撃はボコハラムも関連するようです。外国人は全土で誘拐されるリスクが非常に高まっており、主要幹線道路(首都ーボボ間)までも、既にイタリア人やカナダ人が誘拐されているようです。(大使館からの未確認情報)

昨年から急激に状態が悪くなっていましたが、12月からはかなり厳しくなり、在ブルキナファソ日本大使館も非常にピリピリしています。このような状態は近く改善するとは考えにくく、アメリカとイランの関係悪化もあり、さらに悪化すると予測され、どこで何が起こってもおかしくありません。今後、入国できなくなる可能性もあり、当社事業も大幅な見直しを迫られ、対応に追われています。このような現状を考えますと、ブルキナファソでの事業中止を決断されるように進言いたします。

株式会社ア・ダンセ 森重裕子

参考 URL(すべて2020年1月5日6時-7時アクセス)

外務省海外安全ホームページ ブルキナファソ:https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_117.html#ad-image-O

Yahoo「西アフリカのクリスマス・テローブルキナファソは「第2のシリア」になるか」

<https://news.yahoo.co.jp/byline/mutsujishoji/20191226-00156436/>

以 上